

KiKiの広場

2013年 5月 1日

cafe NO.31
KiKi



天候の変化に振り回され、穏やかな春日和にあまり恵まれなかった4月ですが、新芽の美しさ若々しさは、思いっきり感じられるようになった今日この頃です。何より嬉しいのは、入口のアーチに這わしたジャスミンがつぼみをいっぱいつけていることです。ちょうど去年の今頃アーチの側に植えた一株のジャスミンが、どんどん蔓を伸ばしていましたが、冬になりアーチの半分のところでピタッと成長が止まっていた。それが暖かくなるとたん芽が伸びだし、若葉かと思っていたらピンク色に変化し、それはつぼみでした。そのうち香りと共に、白い花を咲かすと思うとワクワクします。どうぞ、お楽しみに♡

5月の予定

14日(火) 休館日



「今月のケーキ」…「レモンクリームパイ」 300円

レモン果汁とレモンピール(レモンの皮)を、ふんだんに使用したレモンカスタードクリームのパイです。ホワイトチョコレートパウダーをトッピングし、甘くなく爽やかな口当たりとマイルドなクリームの味わいが特徴です。😊



今月のお気に入り…「母の日にちなんだ絵本」

～「孝行手首」「ほくにげちゃうよ」「いっしょってうれしいな」「ちいさなねこ」「あなたをずっとずっとあいらしてる」など～



母の気持ちになって、思わずキュンとしてしまう絵本を選んでみました。まず「孝行手首」ですが、表紙を見てびっくり、いったいどんな話かと思いませんか？何と言っても発想がすごい、まさしく主役は手首です。地獄のエンマさまをも巻き込み、怖さあり、気持ち悪さあり、笑いあり、最後はほろりとさせられる、心がはっきりするお話です。そしてもう1冊、高校生の息子を持つ私の友だちが、読んで号泣したという「ほくにげちゃうよ」は、親になった時の感動、喜び、愛おしさを思い起こされる絵本だと思います。我が子をぎゅっと抱きしめていた感覚がよみがえってくるようです。



今月の本欄…「かがくい ひろしの世界」

～「まくらのせんじん そこのあなたの巻」「おもちのきもち」「はっきよい畑場所」「がまんのケーキ」などなど～



25年の教師生活を経て50歳で絵本デビューされた、大、大、大好きなかがくいひろしさんの特集です。「だるまさんが」に一目ぼれし、夢中で全作品を集め、次回作を楽しみに待っていました。ところがたった4年の作家生活で15冊の絵本を残し、54歳で急逝されました。「子どもは知っています。ビデオの映像のように画一的な同じ声ではなく、お父さんやお母さんの声が毎日違うことを。そして疲れてしんどい時にも、子どもと一緒に時を過ごそうと絵本を読んでもらっていることを。どんな時代が来ようとも、子どもの笑い声を聴きながら、踏ん張って歩いていきましょうね。」かがくいさんがあるインタビューで話された言葉です。身近な何気ないものたちに生命を吹き込み、ユーモアとほのぼのとした笑いにあふれたやさしい作品の数々です。「笑いとはたとえその時一瞬であっても、生きるパワーを与えられる。」と。



ほっとフレイク

KiKiのドアは、今時どうなん？って感じですが、自動ドアでなく手動で開けるドアです。でもそれがわかりにくくて、じっとドアの前で立たれる方が後を絶ちません。走って行って「すみませんっ！」と開けるのですが、いつも本当に申し訳なく思っています。常連さんの中にはよくわかっておられて、人影がすると慌てて開けに行ってくださいることも多々あります。「もう今日は閉店かと思った。」とか、「反応がないから、まあどんだけ痩せたかと思って嬉しかったのに～」などなど～。ごめんなさい!!!それで今回、左右の矢印をテープでつけてみました。果たしてわかっていただけるでしょうか？

